

## 平成31年度事業計画について

### 1. 1 活動の進め方に関する基本的考え方

少子化、高齢化、核家族化が進んでいる現実的な状況を直視し、明日を見つめながら、持続可能な街であることを目指し、自治会運営を考えていきます。

#### (1) 自治会活動を取り巻く環境と課題

- 会員の高齢化や核家族化が進み、退会会員の増加や空き家の増加傾向が顕著になっています。このような環境の中で、従来の班構成や班長業務に関するひずみが増加している状況に直面しています。
- 武蔵台は坂の街であり、比較的短期間に入居が行われたため、多くの方が同時期に高齢化を迎え、移動が困難な日常生活を強いられる状況が進みつつあります。
- 自治会活動に関しても、現在の自治会役員と地域住民のボランティアによる活動の持続はいずれ困難な状況に直面し、武蔵台の元気なコミュニティーが存続できなくなる恐れがあります。

#### (2) 課題解決に向けての基本的取組内容

「向こう三軒両隣り 近所のお付き合い 助け合い」今、私たちに求められている言葉ではないでしょうか。

自治会に求められる根本的役割を考え、私たちがおかれている環境の中で出来る活動とは何かを考え、取り組みます。

- 班構成の実態を把握し、併せて班長業務の理解浸透を図ります。
- 年度が替わり新役員体制に代わっても自治会活動が進められる環境整備を模索します。
- 自治会がやらなければならない活動と市行政にお願いする活動を切り分け、新たな活動分担に向けて行政への働きかけを強めるなど、自治会の活動を見直します。
- 持続可能な街にしていくために、行政、地域の活動団体との連携を図ります。
- 街を活性化させるためには、住民の住み方や世代の多様性を創造することが不可欠と考え、それを展開するために必要な環境の整備に取り組みます。

### 1. 2 事業計画の概要



#### (1) 移送サービスの充実

より利便性を高め、同時に、ボランティア活動にて支えられている体制の持続性を高める環境を作ります。

#### (2) 夏祭り

武蔵台の住民及び関係する全ての皆さんの祭りになることを目指して企画・開催します。準備、運営及び開催内容のスリム化を図り、多くの住民の皆さんが無理なく参加して楽しむ手作りの祭りにしていきます。

#### (3) 安全への取り組み

- ① 防災対策

自主防災組織・体制をより有効なものにします。市の総合防災訓練に参加し、防災に対する意識の向上、啓蒙を目指す活動を推進します。

## ② 防犯対策

飯能警察署と連携しながら、自主防犯環境を強化する活動を推進します。

住民相互の挨拶や声掛け活動が街に定着するように、自治会が率先して行動します。それにより地域のコミュニケーション意識を醸成し、防犯環境を高めることになると考えています。

## ③ 交通対策

団地内生活道路の通り抜け車両による事故の防止、大型車両の団地内通過問題に対する対応を継続的に進めます。



## (4) 環境衛生への取り組み

### ① 団地内大掃除

大掃除は、市行政と連携しながら武蔵台区として行います。

高齢化を配慮し、同時に、近隣住民相互のコミュニケーションが高まる活動になることを目指して必要な見直しを行います。

### ② ダストボックスの管理

利用状況を把握し、美観と衛生面の維持を図りながら適切な管理を進めます。

### ③ 街路樹の美化

昨年の区長要望で市に要請した老朽化街路樹を計画的に交換する事業が着実に実施されるように、行政に対するフォローを強めます。

## (5) 広報の取り組み

自治会活動を会員の皆さんに適確に伝えることに注力します。また、武蔵台の良さを住民の皆さんのみならず、武蔵台の外の方々にも知っていただくような情報の発信に努めます。

## (6) 行政や地域団体との関係を密にする取り組み

日高市の末端行政区である「こま武蔵台区」として、市との関係を密に図り、武蔵台の現状を踏まえた活動をすすめます。

また、持続可能な街づくりのため、地域の諸団体と連携を密に図り、元気なこま武蔵台を目指す活動に参画します。

